

# 大使館情報

2023年3月

## 【目次】

### 1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

### 2. ブラジル政治情勢（2023年2月の出来事）

#### 【内政】

- (1) 連邦議員就任式、上下両院議長の選出
- (2) 銃の再登録手続きの義務化
- (3) 伯情報機関（ABIN）の移管
- (4) 住宅供給計画「私の家、私の暮らし」の拡充
- (5) ルーラ政権の支持率
- (6) 下院における税制改革作業部会の設置
- (7) サンパウロ州北部沿岸部における集中豪雨

#### 【外交】

- (1) ルーラ大統領の米国訪問
- (2) マシャード元外相の気候変動特使への任命
- (3) 国連総会緊急特別会合
- (4) ケリー米国気候問題担当特使のブラジル訪問

### 3. トピックス

- (1) 令和4年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催
- (2) 日系人企業家ネットワーク「REN ブラジル」設立2周年記念イベントの実施

### 4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

## 1. ブラジル・マクロ経済情勢

### (1) 経済情勢（2月発表の経済指標）\*GDPは3月発表

- (ア) 2022年の実質GDP成長率は前年比+2.9%（2年連続のプラス成長）、同年第4四半期では前期比▲0.2%（6四半期ぶりのマイナス）、前年同期比+1.9%（8四半期連続のプラス）となった。
- (イ) 12月の鉱工業生産指数は前月比0.0%、前年同月比▲1.3%となった。2022年では前年比▲0.7%。
- (ウ) 12月の小売売上高は前月比▲2.6%、前年同月比+0.4%となった。2022年では前年比+1.0%。
- (エ) 2023年1月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.53%となった(前月: +0.62%)。直近12か月累計は+5.77%となり、前月(同+5.79%)から上昇幅は0.02%ポイント縮小した。
- (オ) 失業率(10~12月)は7.9%となり、3か月前(7~9月)の移動平均8.7%から0.8%ポイント低下。また前年同期比(2021年10~12月)の11.1%から3.2%ポイント低下した。2022年では9.3%(2021年: 13.2%)。
- (カ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査(Focus調査)について、2月24日時点で、GDP成長率予測については、2023年は+0.84%(前週から0.04%ポイント上昇)で、2024年は+1.50%(前週から変わらず)となった。インフレ率については、2023年は5.90%(前週から0.01%ポイント上昇)で、2024年は4.02%(前週から変わらず)となった。

### (2) 経済政策等

- (ア) ルーラ大統領は、2月16日、インタビューにおいて、今年5月1日から最低賃金を1,302リアル/月から1,320リアル/月に引き上げると発言。また同じく5月から、所得税の非課税所得額の上限(現在: 1,903.98リアル/月)を2,112リアル/月へ変更し、さらに528リアル/月の控除を設定し非課税範囲を2,640リアル/月(最低賃金の2倍)に拡大すると表明した。
- (イ) アダッジ財務大臣は、2月28日、ガソリン及びエタノールに課せられる社会負担金(PIS及びCOFINS)の徴収を3月1日から再開することを発表。負担額は当初の予定額から引き下げられ、ガソリンに0.47リアル/ℓ、エタノールに0.02リアル/ℓとなる。また、この引下げによる税収減を補うため、輸出される原油に対して9.2%を課税することとなる。

### (3) 金融政策

次回伯中央銀行金融政策委員会(Copom)は3月21日及び22日に開催予定。

### (4) 為替市場(レートは伯中銀の公表値から算出)

- (ア) 2月の為替市場は4.99~5.25リアル/ドルで推移。

- (イ) 月の前半は 4.99~5.25 レアル/ドルで推移。ルーラ大統領の伯中央銀行に対する発言等を材料にして、概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は 5.13~5.24 レアル/ドルで推移。米国金融政策を巡る動向等を材料に概ね横ばいで推移した。

## **(5) 株式市場**

- (ア) 2月の株式市場は 104,932~112,074 ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は 107,830~112,074 ポイントで推移。米国金融政策を巡る動向やルーラ大統領の伯中央銀行に対する発言の他、資源関連の動向を材料に上下し、概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は 104,932~109,941 ポイントで推移。米国金融政策を巡る動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

## **2. ブラジル政治情勢 (2月の出来事)**

### **【内政】**

#### **(1) 連邦議員就任式、上下両院議長の選出**

2月1日、連邦議員の就任式が実施された。また、同日、上下両院の議長選挙が実施され、ロドリゴ・パシェコ上院議長 (PSD-MG)、アルトゥール・リラ下院議長 (PL-AL) がそれぞれ再選を果たした。

#### **(2) 銃の再登録手続きの義務化**

2月1日、法務治安省は、CACs(狩猟家、射撃愛好家、銃の収集家)を含む銃の所持者に対し、60日以内に銃の再登録手続き(連邦警察国家銃器システム(Sinarm)への登録)を行うことを義務づけた。Sinarmへの再登録を行わない場合は、銃の不法所持で訴追され、銃が押収されることになる。

#### **(3) 大統領府情報庁 (ABIN) の移管**

2月10日、伯政府は大統領府情報庁 (ABIN) を大統領府安全保障局 (GSI) から、文官庁 (Casa Civil) に移管する暫定措置令 (MP) を官報にて発表した。また、3月3日付の官報にて、ABIN長官に、ルイス・フェルナンド・コヘア元連邦警察長官が任命された。

#### **(4) 住宅供給計画「私の家、私の暮らし」の拡充**

2月14日、ルーラ大統領は、バイア州サント・アマロ市において、住宅供給計画「私の家、私の暮らし (Minha Casa, Minha Vida)」の拡充に関する暫定措置令 (MP) に署名した。同供給計画は、主に低所得者層及び母子家庭を対象に、2026年までに200万件を供給することを目標としている。

#### **(5) ルーラ政権の支持率**

Quaest社が公表した2月10日から13日にかけて、2016人を対象に実施した世論調査の結果によれば、ルーラ政権に対する評価は、「良い」が40%、「普通」が24%、「悪い」が20%となっている。なお、ルーラ大統領への支持率は、支持が65%、不支持が29%。

#### **(6) 下院における税制改革作業部会の設置**

2月15日、アルトゥール・リラ下院議長は、税制改革法案の審議迅速化に向け、下院議員12名からなる税制改革作業部会を設置した。作業部会のコーディネーターには、レジナルド・ロペス下院議員（PT-MG）が選出された。

#### （7）サンパウロ州北部沿岸部における集中豪雨

2月18日、19日、サンパウロ州北部の沿岸にて集中豪雨による洪水・土砂災害が発生し、サンセバスチアン市で64人、ウバトゥーバ市にて1人の計65名が死亡し、2500人以上が非難を余儀なくされた。また、サントス市とリオデジャネイロ市、モジ・ダス・クルーズ市とベルチオーガ市を結ぶ街道が封鎖され、一部地域は孤立した。ルーラ大統領は、20日に休暇先のバイア州から関係閣僚と共に現地入りし、上空から被災地を視察後、フレイタス・サンパウロ州知事と記者会見を実施した。この災害に対して、伯軍陸軍450名が災害救援活動を行っている。

この災害を受けて、岸田総理大臣からルーラ大統領に、林外務大臣からヴィエイラ外務大臣に、林駐ブラジル日本国大使からフレイタス サンパウロ州知事に、それぞれ見舞いのメッセージを発出した。

### 【外交】

#### （1）ルーラ大統領の米国訪問

2月9日夕方、ルーラ大統領は、ジャンジャ夫人、ヴィエイラ外務大臣、アダッジ財務大臣、シルヴァ環境相大臣、フランシスコ人種平等促進大臣等と共に、米国ワシントンに到着。同日、ルーラ大統領は、バーニーズ・サンダース上院議員や米民主党議員らと会談を実施。

翌10日、ルーラ大統領はバイデン米大統領と会談及び共同記者会見を実施した。会談後に発出された共同声明において、両首脳は、伯米関係の重要性を再確認し、民主主義の強化、人権尊重の推進、気候変動危機への対処に注力するとした。また、ロシアによるウクライナの領土一体性の侵害を国際法の明確な侵害として批判し、公正で永続的な平和を呼びかけた。

#### （2）マシャード元外相の気候変動特使への任命

2月17日、伯外務省は、ルイス・アルベルト・フィゲレド・マシャード元外相（ルセーフ政権下、2013年8月～12月）を気候変動担当特使に任命。

#### （3）国連総会緊急特別会合

2月24日、国連総会緊急特別会合にて、ウクライナにおける包括的、公正かつ永続的な平和に関する総会決議が141票の賛成多数で採択。伯は、決議に賛成票を投じた。

#### （4）ケリー米国気候問題担当特使のブラジル訪問

2月26日～28日、ケリー米国気候問題担当特使が訪伯し、27日には、アルキミン副大統領、シルヴァ環境大臣、ホシャ外務次官、メルカダンテ国立経済社会銀行（BNDES）総裁と会談。会談後の昼食会には、ファヴァロ農業・畜産大臣、アモリン大統領府首席補佐官も参加した。

### 3. トピックス

- (1) 令和4年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催 \*紙面の都合上、一部公館抜粋  
(ア) 在ブラジル日本国大使館 (2月15日)

2月15日、在ブラジル日本国大使公邸にて、令和4年度天皇誕生日祝賀レセプションが開催された。ルイス・ニシモリ連邦下院議員(伯日議連会長)、アルリンド・キナリア連邦下院議員、ヘジナルド・ロペス連邦下院議員、ジュリオ・セザール・ヒベイロ連邦下院議員、トゥーリオ・ガデーリャ連邦下院議員、キン・カタギリ連邦下院議員、ペドロ・アイハラ連邦下院議員はじめ、ブラジル政府、連邦議会、日系社会、民間企業、教育・文化・スポーツ関係、外交団等、約340名の出席者を得て、天皇誕生日を祝賀するとともに、交流が盛況に行われた。林大使は、ブラジルが新政権下で受け入れた初の要人公式訪問となった1月の林大臣訪問に言及しつつ、自由・民主主義・法の支配・人権といった基本的価値を共有する「戦略的グローバルパートナー」である日本・ブラジルの二国間関係の更なる強化への強い期待を表明した。

また、会場では、進出企業支援の一環として、ブラジルで活躍する日本関係企業5社(トヨタ・ホンダ・HPE(スズキ・三菱)・ヤマハ・キッコーマン)が自社製品や技術の紹介を行った。さらに、和食のプロモーションとして天ぷら・寿司・日本酒等が提供された他、美しい日本の景色など訪日を疑似体験できるVRコーナーを設置し訪日観光を紹介した。



林大使の挨拶



主要来賓との乾杯



トヨタ・HPEによる車輛の展示



キッコーマンによる日本酒等の紹介



ホンダによる二輪車の展示



ヤマハによるキーボード展示・デモ

#### 4. 大使館からのお知らせ

##### (イ) 在クリチバ日本国総領事館（2月10日）

2月10日、在クリチバ日本国総領事館は令和4年度天皇誕生日祝賀レセプションを開催し、パラナ州及びサンタカタリーナ州より、州政府高官、議員、市長、日系団体関係者など約250名の方々が出席した。また、濱田総領事から、長きにわたる日本での音楽活動を通じて、両国の相互理解と友好関係の進展に貢献のあった歌手カルロス・トシキ氏に対し、在外公館長表彰を授与した。



濱田総領事による挨拶



ダラニョール下院議員による挨拶



主要来賓との乾杯



カルロス・トシキ氏への表彰



三都主サッカー元日本代表選手ご夫妻



日本企業ブース

### (ウ) 在マナウス日本国総領事館 (3月3日)

3月3日、マナウス市内のホテルにおいて、令和4年度天皇誕生日祝賀レセプションが開催された。本レセプションには、タデウ・デ・ソウザ/アマゾナス州副知事をはじめ、連邦・州・市の主要機関、軍関係者、領事団、経済界、学界、日系社会、進出日本企業などから多くの出席があった。

会場では、皇室関連映像を上映したほか、日本人形・生け花の展示、日本酒・焼酎・日本米・日本茶の提供、日本のインバウンド観光促進を図るPR映像の上映などを行い、日本の様々な魅力の発信を行った。また、マナウス・フリーゾーン進出日本企業のうち4社(ダイキン、久光、パナソニック、ヤマハ)が会場内にて各社の製品を展示・紹介した。



服部/西部アマゾン日伯協会会長と  
荻野総領事夫妻



日本酒による乾杯(タデウ・デ・ソウザ  
副知事夫妻、荻野総領事夫妻)



久光の企業ブース



パナソニックの企業ブース



ヤマハの企業ブース



ダイキンの企業ブース

## （２）日系人企業家ネットワーク「REN ブラジル」設立２周年記念イベントの実施（２月２７日）

２月２７日、在ブラジル日本国大使館は日系人企業家ネットワーク「REN ブラジル」と共催で REN ブラジル設立 ２周年記念イベントを実施した。「REN ブラジル (Rede Nikkei do Brasil)」は、ブラジリアを拠点とする若手日系人を中心に構成される非営利団体であり、日系人企業家間のビジネス上での連携の推進、起業を目指す若手日系人の支援、及び日本文化普及活動をもって次世代の日系社会の発展を目指している。

今次２周年記念イベントでは、林駐ブラジル日本国大使の他、当地の日系団体、ビジネス関係者等が参加した。日本大使館は、日系社会の更なる発展のため、REN ブラジルの活動に引き続き最大限協力していく。



## 4. 大使館からのお知らせ

### (1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)  
在ベレン領事事務所 : [facebook](#)  
在マナウス総領事館 : [facebook](#)  
在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)  
在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)  
在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)  
在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

### (2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和4年度第3四半期）は以下のリンク先から。

[https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/kaigai\\_anzen\\_taisaku.html](https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html)

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil\\_manual.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html)

### (3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報・感染症危険情報

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo\\_259.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html)

#### ●危険情報

最新更新日：2022年4月5日

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏

- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

●感染症危険情報

最新更新日：2022年10月19日

感染症危険情報レベルを更新し、全世界を一律レベル1（十分注意してください）に見直しました。

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2022年8月1日

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html)

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2022年8月2日

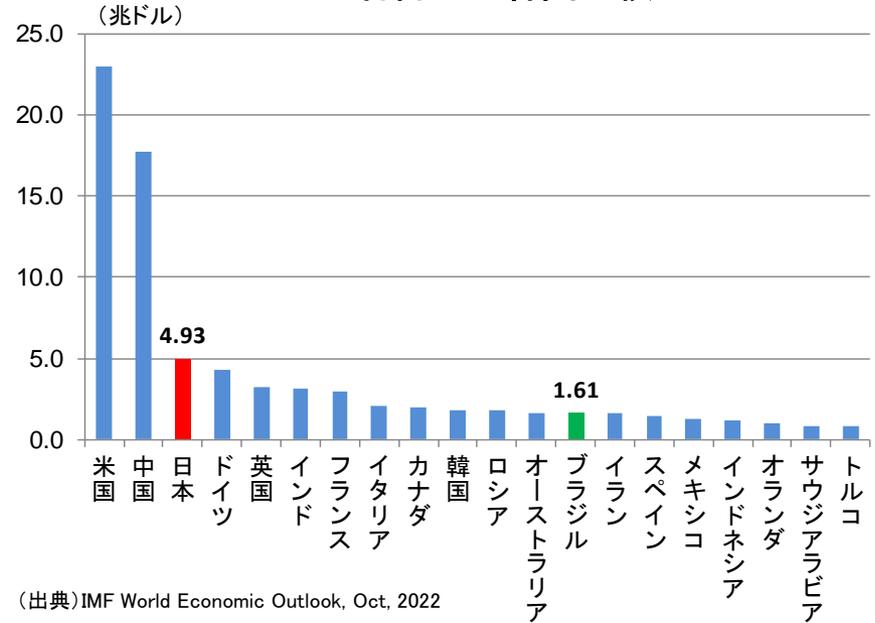
[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html)

# ブラジル経済・二国間経済関係概観

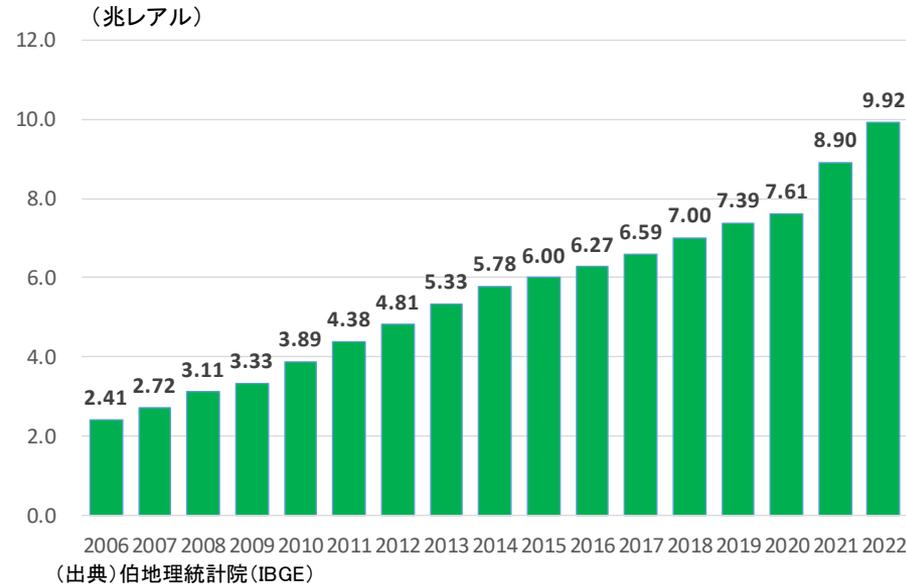
## 1. 経済構造

1. 人口約2億1,331万人、面積約851万km<sup>2</sup>(2021年)
2. 世界第13位の経済規模(名目GDP約1兆6,081億ドル(2021年):日本の約33%)。一人当たりGDP(約7,564ドル(2021年))は、日本の約19%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別で見ると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

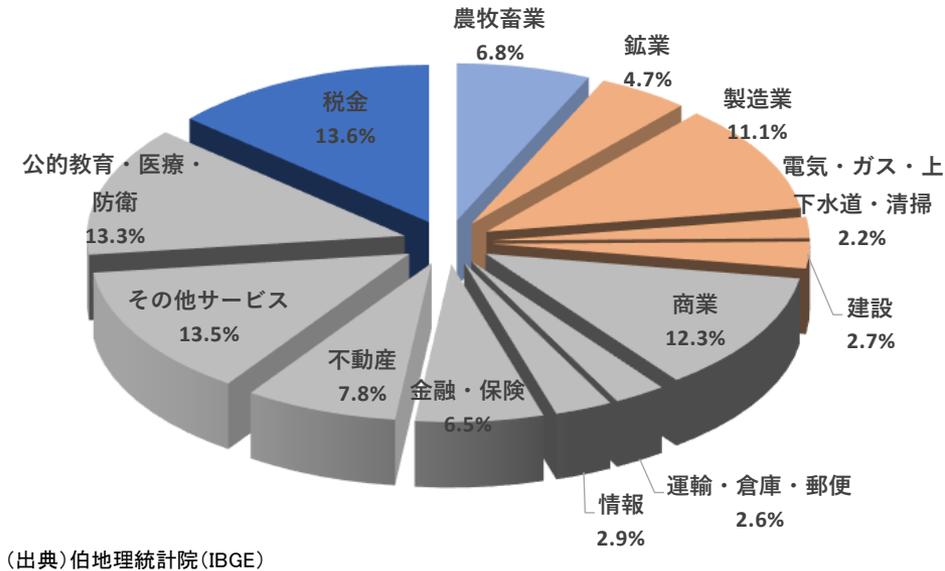
## 名目GDP各国比較



## 名目GDPの推移



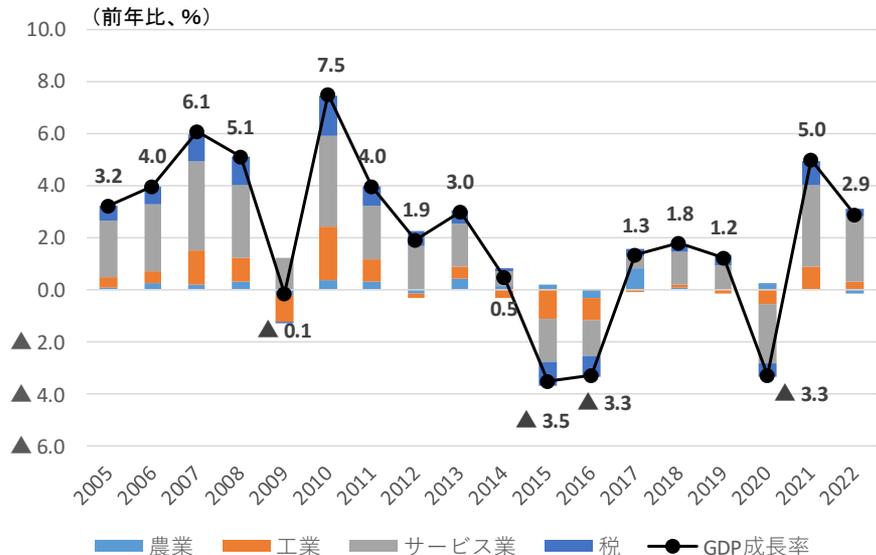
## 名目GDPの産業別構成比(2022年)



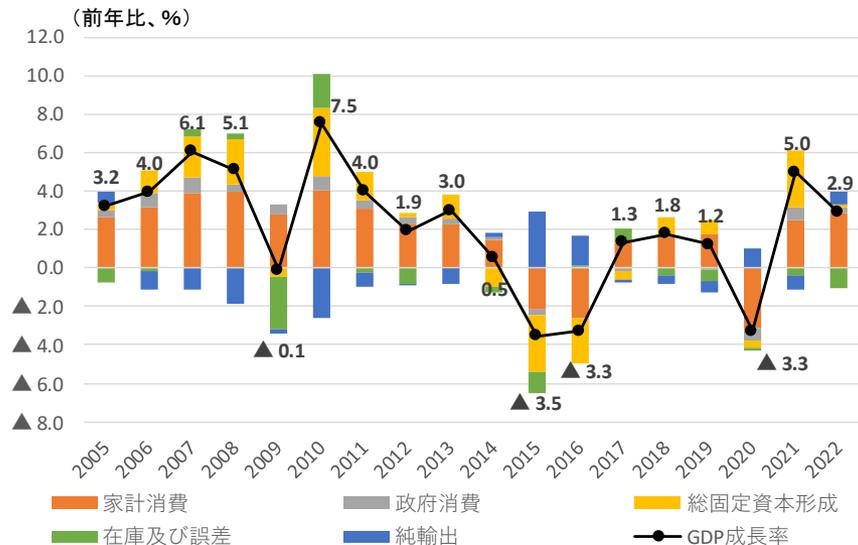
## II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が2023年3月に発表した2022年の実質GDP成長率は前年比+2.9%となった。同年第4四半期では、前期比▲0.2%(6四半期ぶりのマイナス)、前年同期比+1.9%(8四半期連続のプラス)となった。

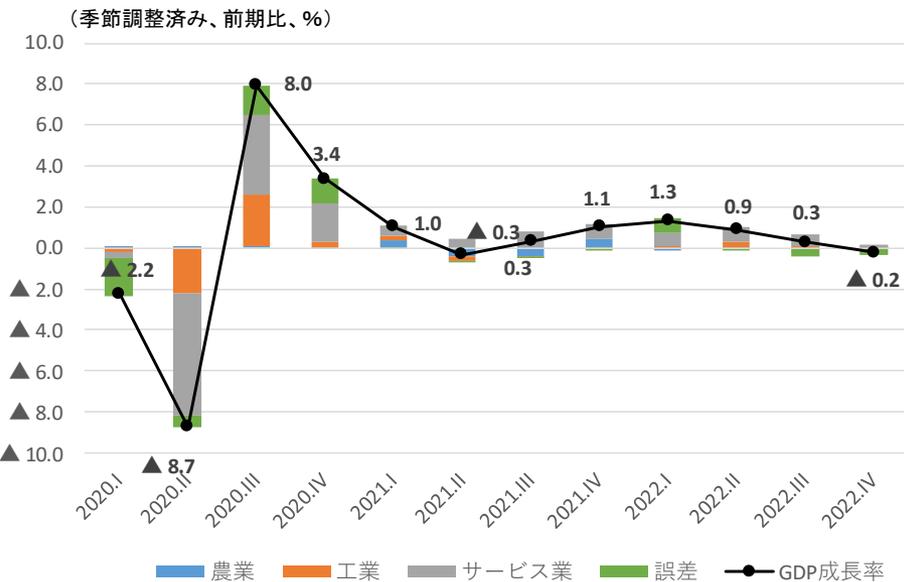
### 実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)



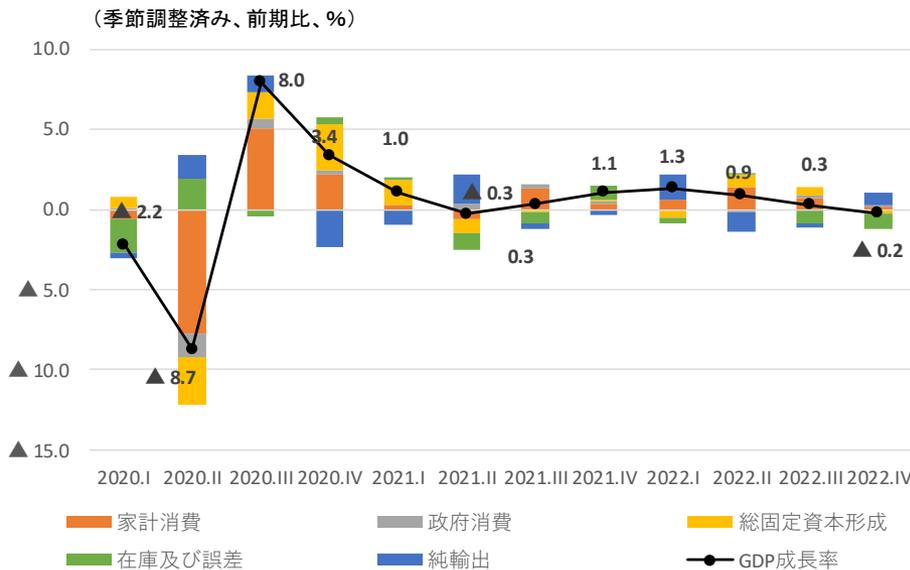
### 実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)



### 実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



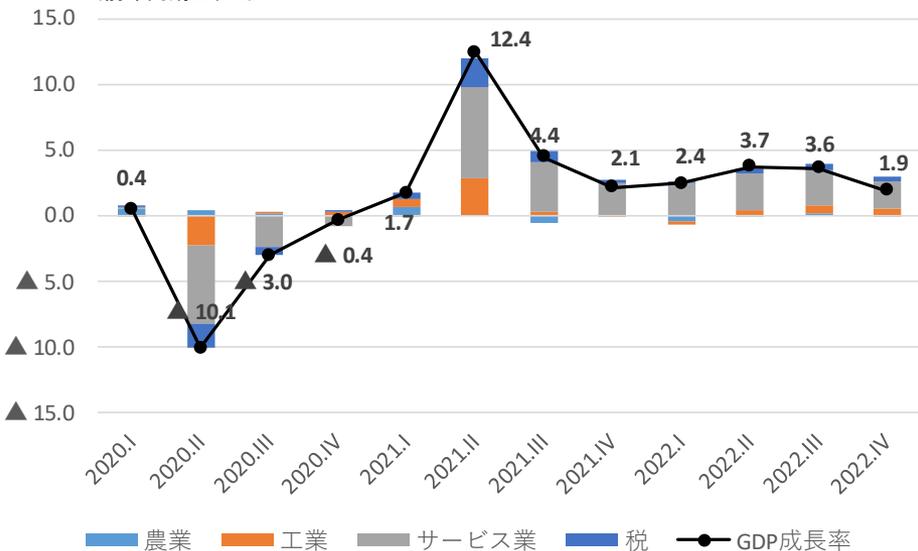
### 実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典) 伯地理統計院(IBGE) 2

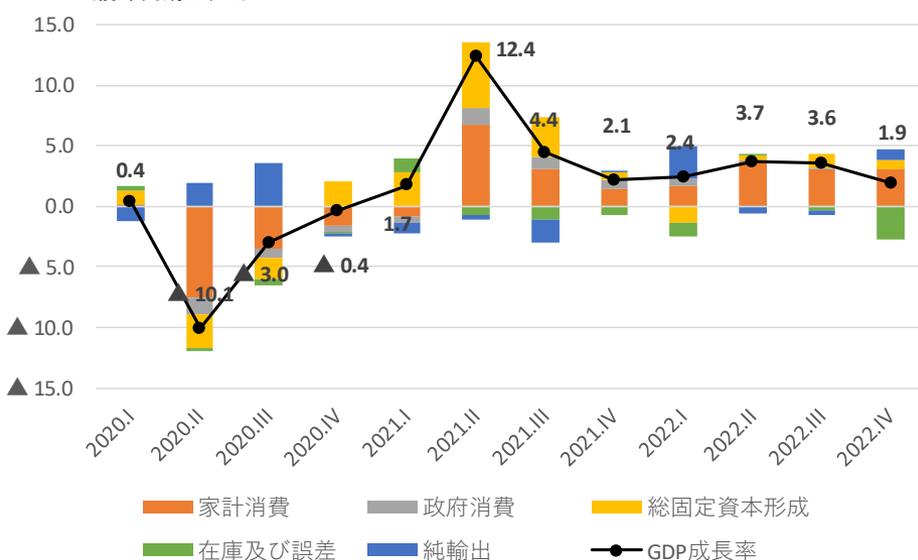
## 実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



## 実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

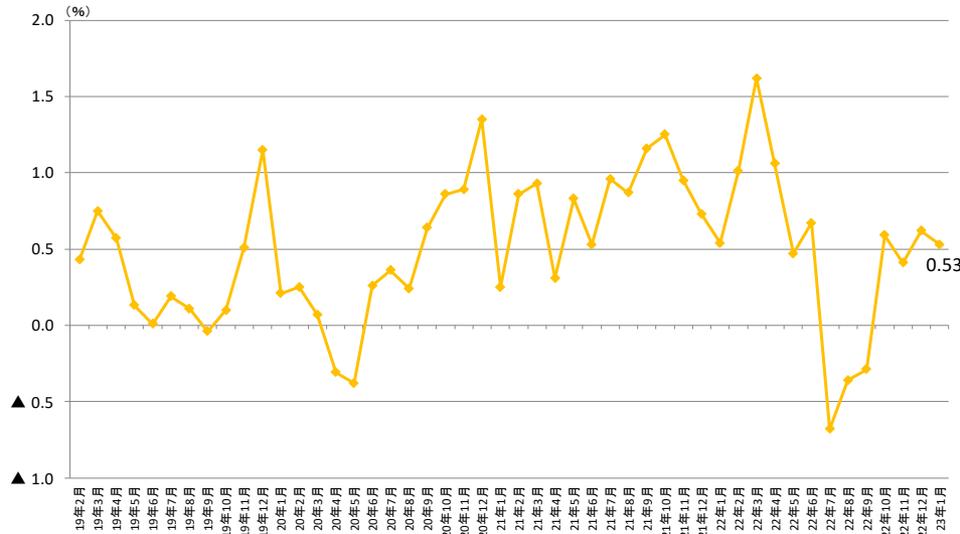
## 《各機関によるGDP成長率見通し》

	2023	2024
IMF (2023年1月)	+1.2%	+1.5%
伯経済省 (2022年11月)	+2.1%	-
伯中銀 (2022年12月)	+1.0%	-
伯中銀Focus (2023年2月24日)	+0.84%	+1.50%

# 物価の動向と政策金利

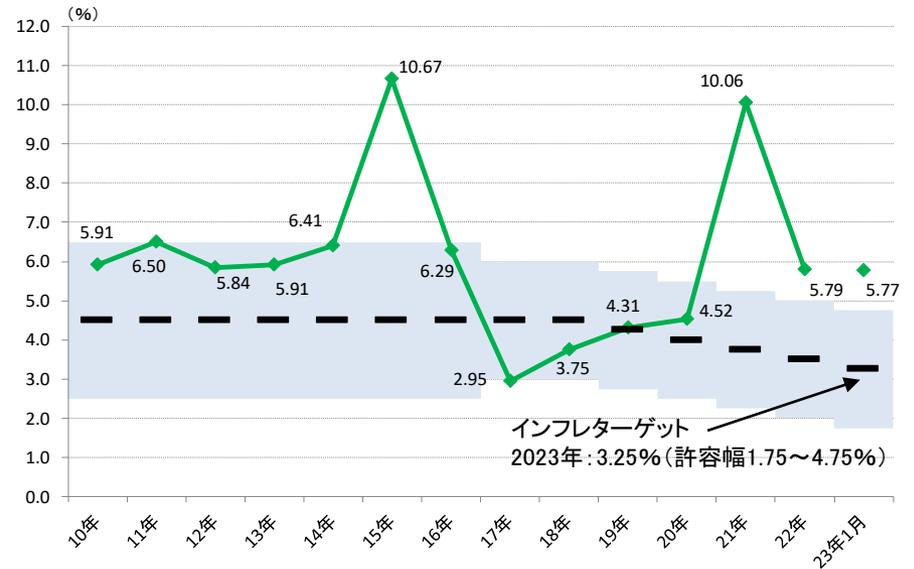
1月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.53%、直近12か月累計では5.77%となった。

## 拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



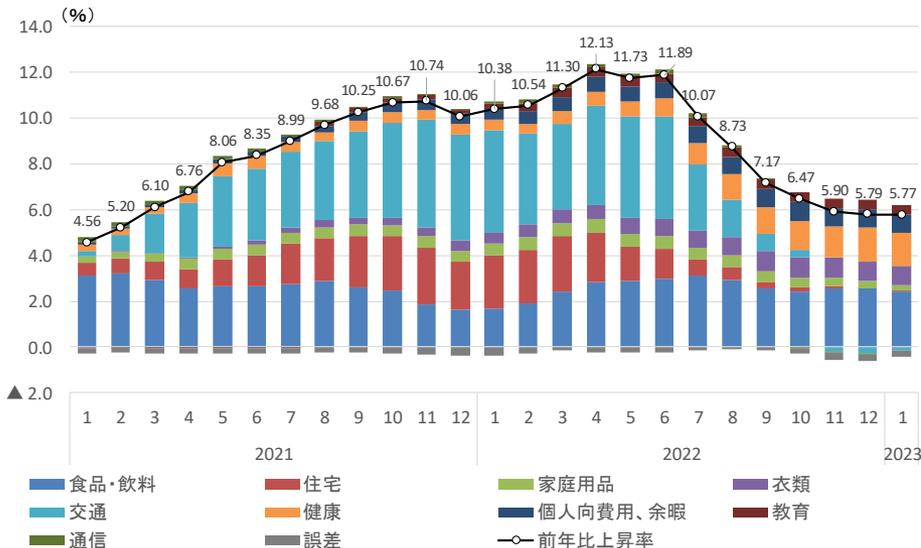
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

## 拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

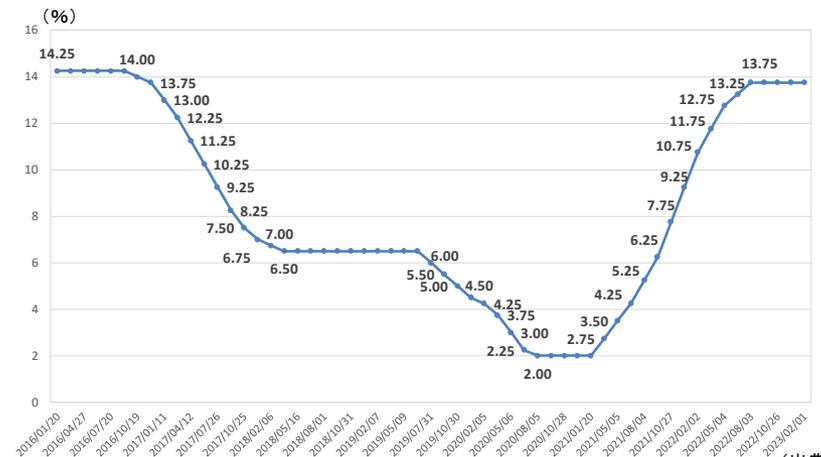
## 拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の項目別寄与度



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

## 政策金利の推移(2016年～)

次回伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) は3月21日及び22日に開催予定。

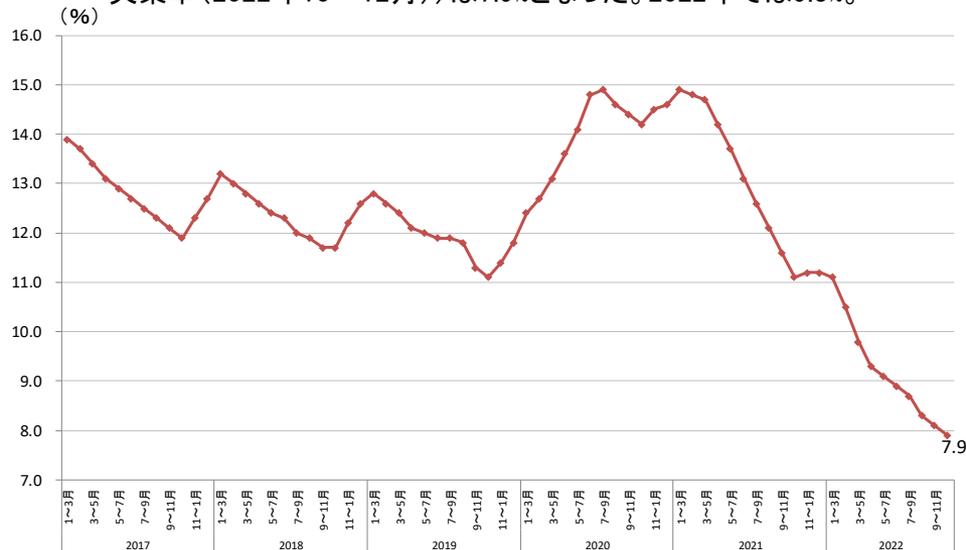


(出典) BCB

# 労働市場、消費、生産、財政収支の動向

## 失業率の推移(3か月移動平均)

失業率(2022年10~12月)は7.9%となった。2022年では9.3%。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

## 小売・サービス売上高指数の推移(月次)

小売売上高(12月)は前月比▲2.6%、前年同月比+0.4%となった。2022年では前年比+1.0%。サービス売上高(12月)は前月比+3.1%、前年同月比+6.0%となった。2022年では前年比+8.3%。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

## 鉱工業生産指数の推移(月次)

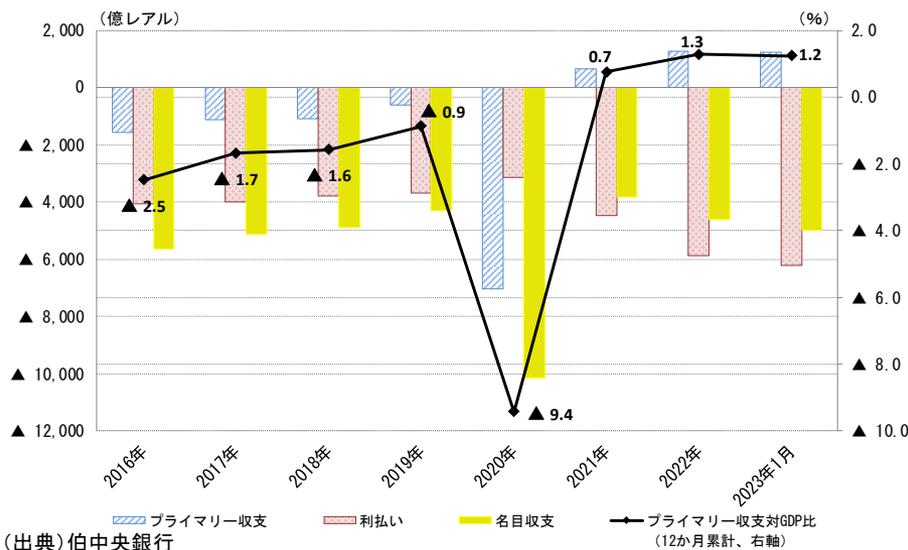
鉱工業生産(12月)は前月比0.0%、前年同月比▲1.3%となった。2022年では前年比▲0.7%。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

## 財政収支の推移(12か月累計)

公的部門の2023年1月のプライマリーバランスは1,232億レアルの黒字、利払いは▲6,210億レアル、名目収支は▲4,978億レアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

# 国際収支の動向

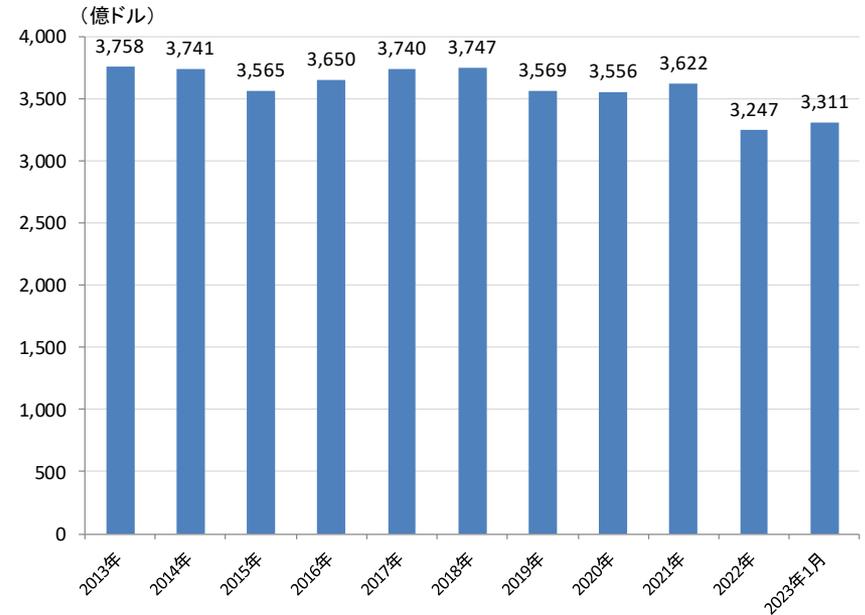
## 国際収支

(億ドル)  
2023年  
1月

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 1月
経常収支	▲ 515	▲ 650	▲ 245	▲ 464	▲ 560	▲ 88
貿易収支	434	265	324	364	442	12
サービス収支	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 270	▲ 400	▲ 23
第1次所得収支	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 590	▲ 639	▲ 78
第2次所得収支	▲ 0	12	23	32	38	1
資本移転収支	4	4	41	2	2	0
金融収支	▲ 523	▲ 644	▲ 125	▲ 502	▲ 664	▲ 90
直接投資	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 302	▲ 599	▲ 39
対外直接投資	20	228	▲ 35	162	307	30
対内直接投資	782	692	378	464	906	69
証券投資	69	192	129	▲ 79	50	▲ 30
金融派生商品	28	17	54	▲ 10	▲ 20	▲ 5
その他投資	113	▲ 128	247	▲ 251	▲ 22	▲ 29

(出典) 伯中央銀行

## 外貨準備高



(出典) 伯中央銀行

## 外国直接投資(資本参加分)流入額

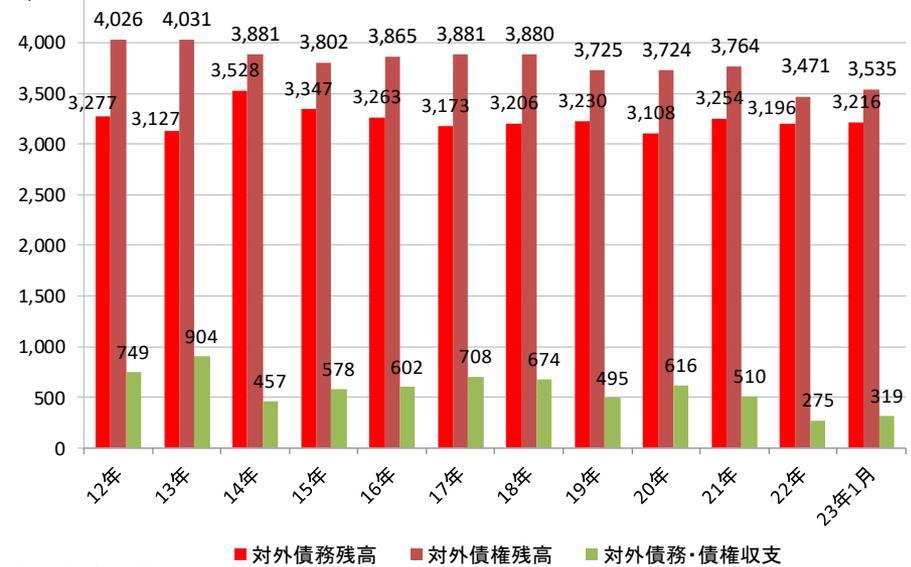
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

## 対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

■ 対外債務残高 ■ 対外債権残高 ■ 対外債務・債権収支

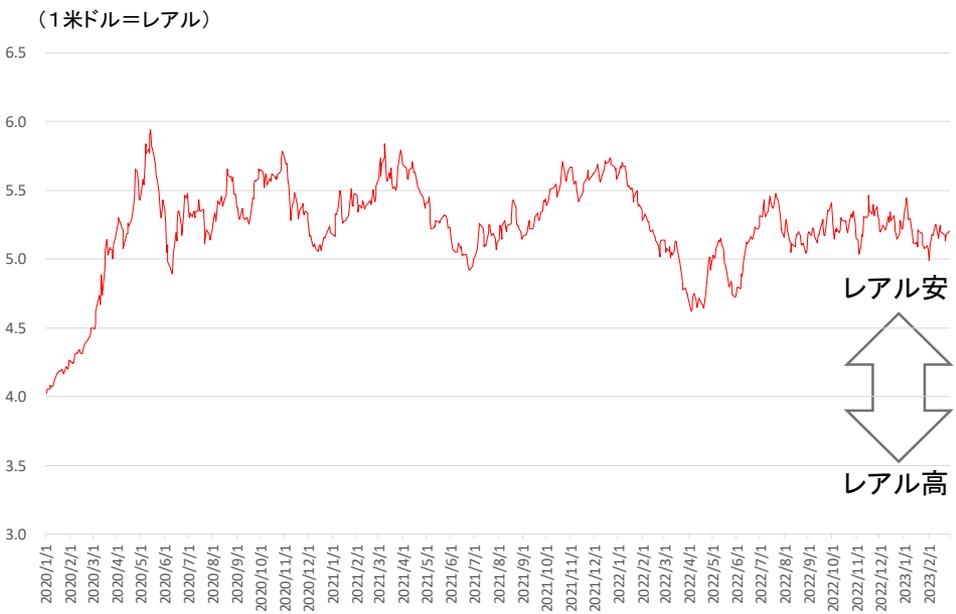
# 為替・株価の推移

2月の為替市場は4.99～5.25レアル/ドルで推移。

月の前半は4.99～5.25レアル/ドルで推移。ルーラ大統領の伯中央銀行に対する発言等を材料にして、概ね下落傾向で推移した。

月の後半は5.13～5.24レアル/ドルで推移。米国金融政策を巡る動向等を材料に概ね横ばいで推移した。

## 為替の推移(対米ドル)



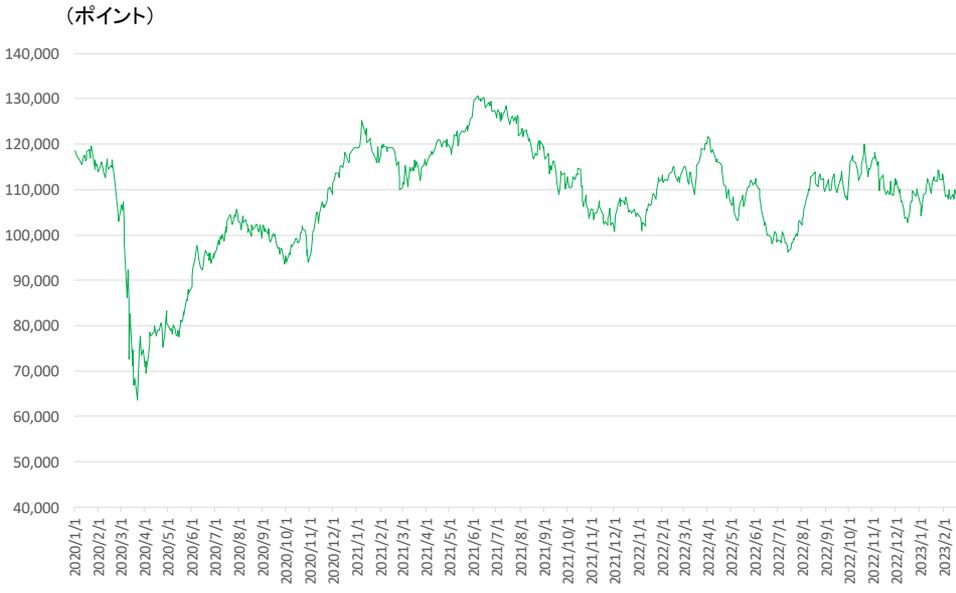
(出典)伯中央銀行

2月の株式市場は104,932～112,074ポイントで推移。

月の前半は107,830～112,074ポイントで推移。米国金融政策を巡る動向やルーラ大統領の伯中央銀行に対する発言の他、資源関連の動向を材料に上下し、概ね下落傾向で推移した。

月の後半は104,932～109,941ポイントで推移。米国金融政策を巡る動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

## 株価指数(Ibovespa)の推移



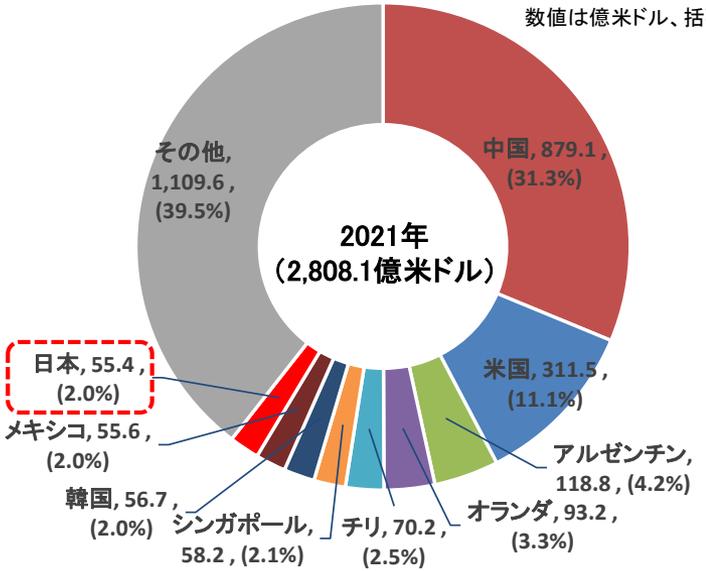
(出典)B3

### III. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2022年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で10位となっている。

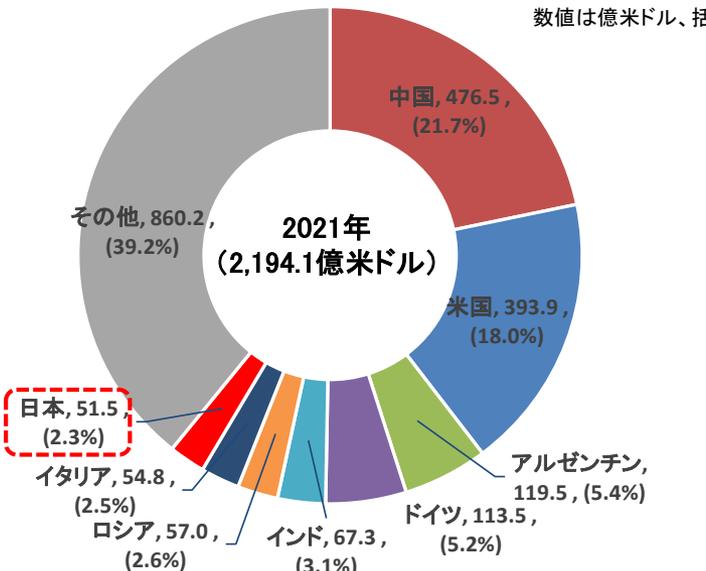
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



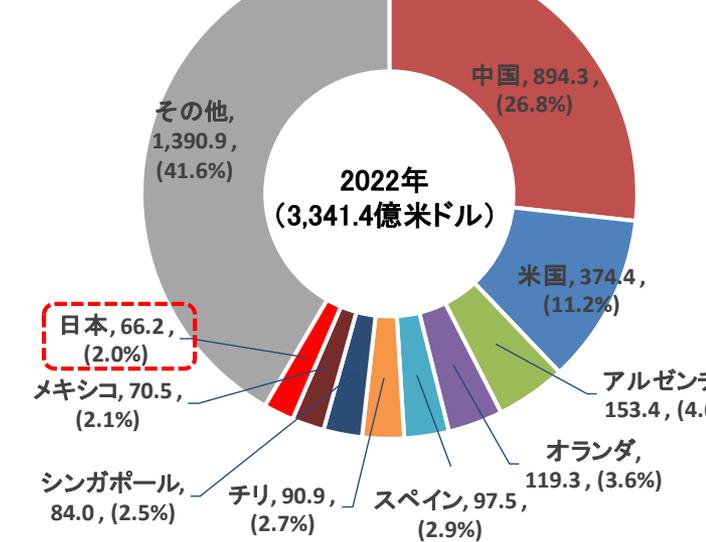
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



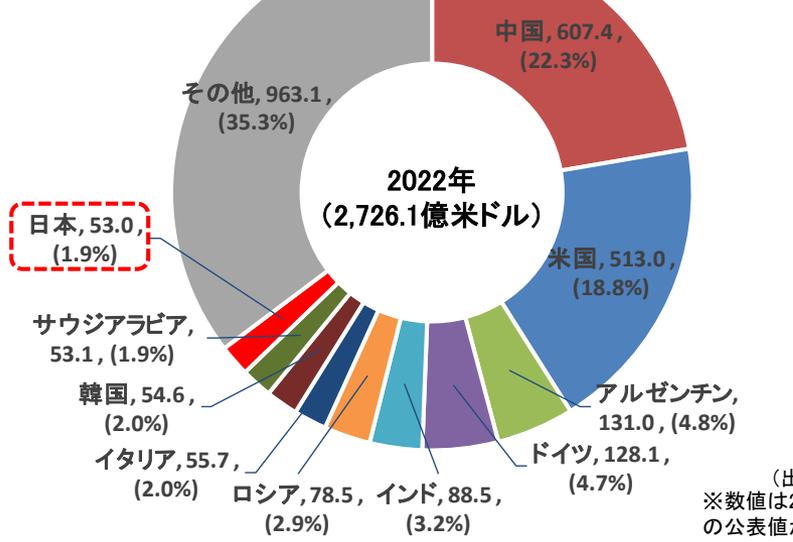
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



輸入額と構成比(国別)

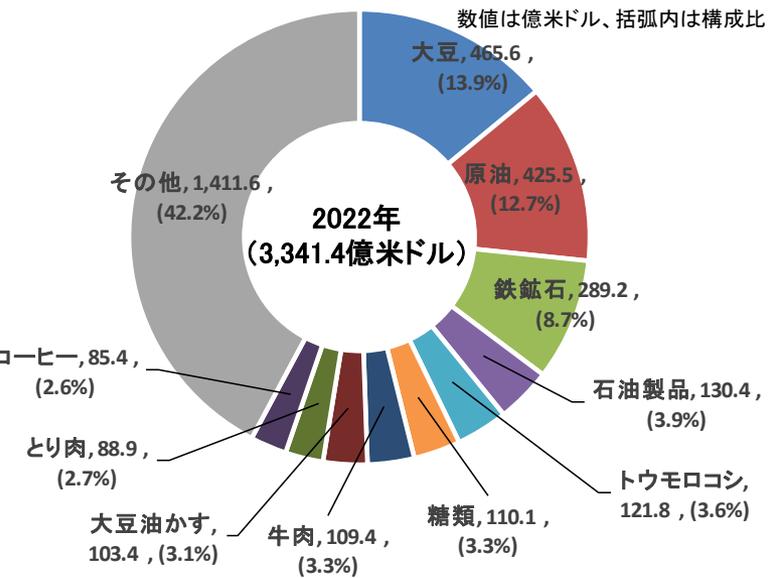
数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC  
※数値は2023年3月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源(原油、鉄鉱石等)、食品(大豆、トウモロコシ、糖類、肉類等)。主要輸入品目は石油製品、肥料、自動車部分品を中心に、電気機器など幅広い品目にわたっている。

### ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



### 【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	465.6	100.0
① 中国	317.8	68.3
② スペイン	19.4	4.2
③ タイ	16.8	3.6
④ イラン	13.5	2.9
⑤ オランダ	11.3	2.4

### 【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全体	425.5	100.0
① 中国	165.3	38.8
② 米国	50.6	11.9
③ スペイン	35.7	8.4
④ チリ	31.3	7.4
⑤ ポルトガル	25.3	5.9

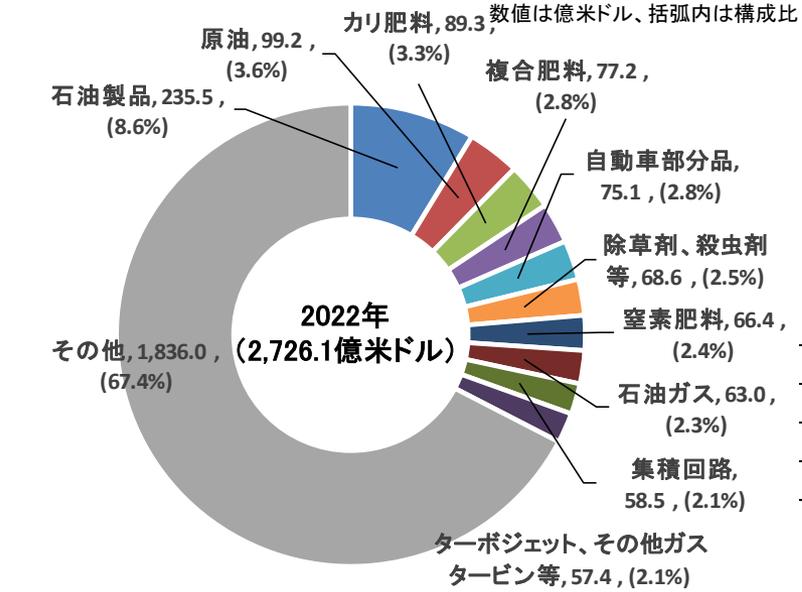
### 【鉄鉱石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	289.2	100.0
① 中国	181.9	62.9
② マレーシア	15.2	5.3
③ バーレーン	13.3	4.6
④ 日本	11.0	3.8
⑤ 韓国	8.6	3.0

### 【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	130.4	100.0
① シンガポール	58.6	44.9
② オランダ	8.8	6.8
③ 米国	4.9	3.8
④ ヴァージン諸島	4.8	3.7
⑤ パナマ	4.7	3.6

### ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



### 【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	235.5	100.0
米国	127.9	54.3
インド	25.9	11.0
UAE	22.4	9.5
オランダ	11.7	5.0
ロシア	11.1	4.7

### 【原油】

	億米ドル	構成比(%)
合計	99.2	100.0
① サウジアラビア	32.0	32.3
② 米国	30.0	30.3
③ UAE	11.9	12.0
④ オランダ	5.8	5.9
⑤ ロシア	5.7	5.7

### 【カリ肥料】

	億米ドル	構成比(%)
合計	90.7	100.0
① カナダ	37.1	40.9
② ロシア	24.3	26.8
③ イスラエル	8.7	9.6
④ ドイツ	8.4	9.3
⑤ ベラルーシ	3.6	4.0

### 【複合肥料】

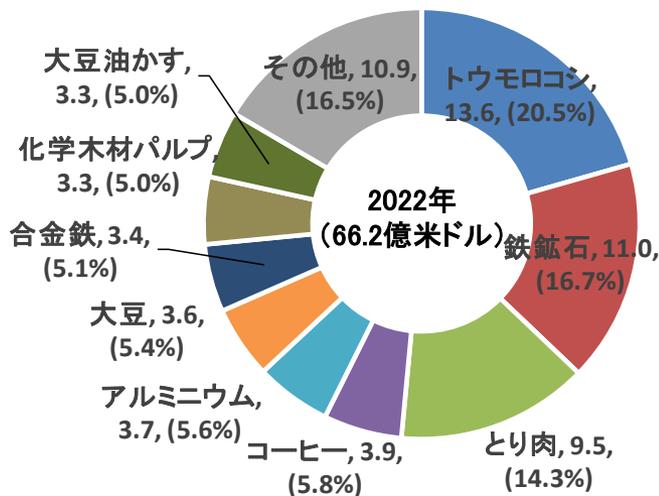
	億米ドル	構成比(%)
合計	77.2	100.0
① ロシア	22.4	29.0
② 米国	14.8	19.2
③ モロッコ	13.3	17.2
④ 中国	8.0	10.3
⑤ サウジアラビア	7.2	9.3

# 対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（トウモロコシ、肉類、コーヒー、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連が中心となっている。

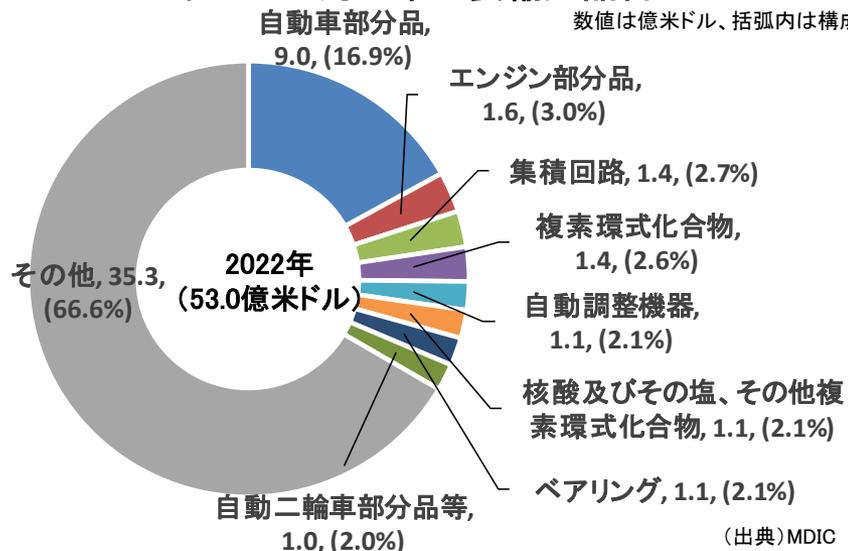
## ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



## ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC

※数値は2023年3月時点の公表値から算出

## ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2022年)

品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)
<b>【とうもろこし】</b>			<b>【鉄鉱石】</b>			<b>【とり肉】</b>			<b>【アルミニウム】</b>		
総計	7,643.4	100.0	総計	18,050.2	100.0	総計	2,077.8	100.0	総計	9,206.4	100.0
① アメリカ合衆国	4,921.7	64.4	① オーストラリア	9,579.8	53.1	① <u>ブラジル</u>	1,407.5	67.7	① アラブ首長国連邦	1,711.6	18.6
② <u>ブラジル</u>	1,744.7	22.8	② <u>ブラジル</u>	5,818.4	32.2	② タイ	611.4	29.4	② ロシア	1,501.2	16.3
③ アルゼンチン	530.2	6.9	③ カナダ	1,313.9	7.3	③ アメリカ合衆国	33.6	1.6	③ オーストラリア	1,388.7	15.1
④ 南アフリカ共和国	379.6	5.0	④ 南アフリカ共和国	611.0	3.4	④ ハンガリー	6.2	0.3	④ ニュージーランド	681.0	7.4
⑤ ウクライナ	41.7	0.5	⑤ アメリカ合衆国	273.4	1.5	⑤ フランス	6.0	0.3	⑤ サウジアラビア	586.1	6.4
<b>【コーヒー】</b>			<b>【大豆】</b>			<b>【合金鉄】</b>			⑥ 中華人民共和国	503.6	5.5
総計	2,333.3	100.0	総計	3,391.0	100.0	総計	4,986.1	100.0	⑦ <u>ブラジル</u>	476.6	5.2
① <u>ブラジル</u>	572.6	24.5	① アメリカ合衆国	2,420.1	71.4	① カザフスタン	956.3	19.2			
② コロンビア	396.4	17.0	② <u>ブラジル</u>	570.1	16.8	② 中華人民共和国	557.3	11.2			
③ ベトナム	306.6	13.1	③ カナダ	364.6	10.8	③ ロシア	533.6	10.7			
④ エチオピア	179.9	7.7	④ 中華人民共和国	33.4	1.0	④ <u>ブラジル</u>	500.8	10.0			
⑤ グアテマラ	175.8	7.5	⑤ ロシア	2.7	0.1	⑤ マレーシア	497.0	10.0			

※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェオアロイ)7202、大豆1201

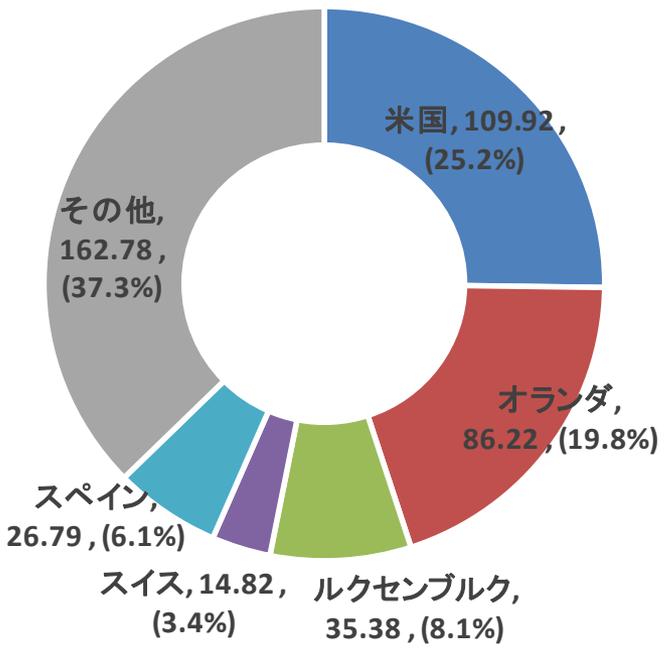
(出典)財務省(日本)

※数値は2023年3月末時点の公表値から算出

# IV. 日伯投資

## 対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比 総額435.9億ドル(2022年)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



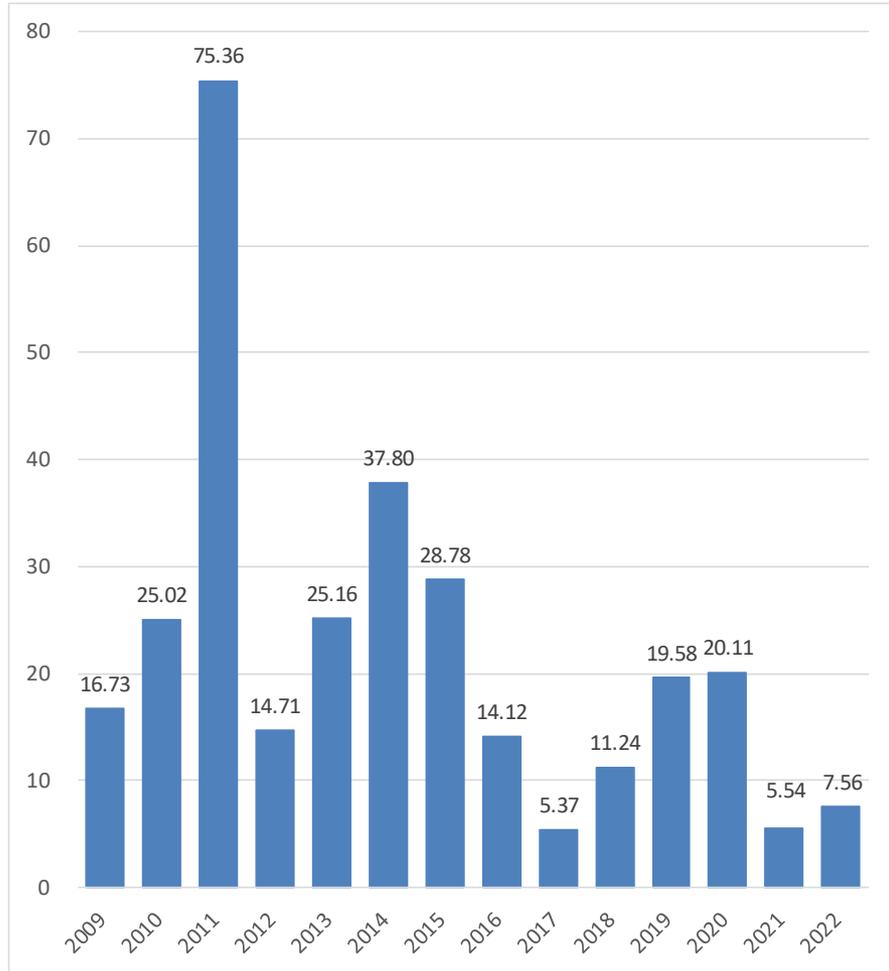
(出典) 伯中央銀行

2022年の日本の直接投資額(資本参加分)は7.56億ドルで構成比は1.73%と、10番目の規模。

※ 中国:0.35億ドル(0.08%)。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。

## 日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行